

施策評価シート

登録者(課長)名【1】	みどり公園課長 高井 謙
主管課(関係課)【2】	みどり公園課

【施策の概要】

施策名【3】		分野【4】	まちづくりの方向性【5】	
環1-2 みどりの空間の創出		豊かなみどりを保つために	環境にやさしいまちづくり	
概要	施策全体の課題【6】		施策実現へむけたキーワード【7】	施策の目標【8】
	引き続き、計画的な公園・広場の整備や公共施設の屋上緑化、民有地などへの緑化支援などを行うことが必要です。さらに、これらの取組を活発化させるためには身近なみどりを創出するための体系的な支援が必要となります。		・民有地などにおける緑化が進む、効果的な制度の実施 ・市民とともにみどりをつくる活動を進める	公園や緑地の拡充に加え、街路や公共施設、生垣などの身近な場所での緑化を進め、目に映るみどりの創出をめざします。
	留意すべき点(都などの制度の変化・その他制約条件・社会環境の変化)【9】			
特になし				
事業群	事業群名【10】		事業群の施策上の位置づけ【11】	
	1	計画的な公園・緑地の確保を進めます	計画的な公園・緑地の確保	
	2	身近なみどりを創出するための支援を進めます	ポケットパーク、屋上緑化などの身近なみどりの創出の支援	

【施策の成果】

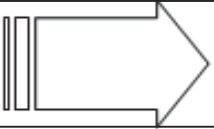



			年度	19	20	21	22	23	24	
成果指標【12】	指標1	名称	「公園・緑地などの保全・活用」に対する市民満足度	目標値	50%			単位	%	
		算出式・説明	環1-2の各事業によるさまざまな取組により、「公園・緑地などの保全・活用」についての満足度の向上をめざします。市民意識調査で把握します。	実績値	43.2	43.2	43.2	43.7	43.7	44
				達成率	86%	86%	86%	87%	87%	88%
	指標2	名称	整備された公園・広場の数	目標値	3箇所			単位	箇所	
		算出式・説明	市民が最も身近にみどりを体感できる場所である公園・広場を整備することにより、みどりの空間の創出を図ります。計画期間内に整備を行った、公園・広場の箇所数で把握します。	実績値	0	0	2	2	3	
				達成率	0%	0%	67%	67%	100%	0%
	指標3	名称	補助金の交付を受けて造成された生垣の延長	目標値	800m			単位	m	
		算出式・説明	みどりの空間を創出するためには、公園・広場の整備だけでなく、生垣の造成など民有地の緑化も必要です。そのために、生垣造成の補助制度を実施して、みどりを増やす支援をします。(目標値は5年間の累計延長とします。)	実績値	61	153	328	387	448	
				達成率	8%	19%	41%	48%	56%	0%
	指標4	名称	「花いっぱい運動」で植付けする花壇数	目標値	50箇所			単位	箇所	
		算出式・説明	市民の目に映えるみどりの創出のために、花やみどりを市民の手で増やしていくことでみどりに感じる機会を増やすことが必要です。	実績値	42	41	40	43	40	
				達成率	84%	82%	80%	86%	80%	0%
達成率の平均値				45%	47%	69%	72%	81%	22%	

【市民意見】【13】

平成19年度		平成22年度		平成24年度	
満足度(%)	37.3%	満足度(%)	38.3%	満足度(%)	40.3%
満足度(平均ポイント)	-0.08	満足度(平均ポイント)	-0.04	満足度(平均ポイント)	0.03
重要度(%)	85.1%	重要度(%)	82.4%	重要度(%)	81.9%
重要度(平均ポイント)	1.37	重要度(平均ポイント)	1.29	重要度(平均ポイント)	1.29

各年次の市民意識調査で、施策ごとの「満足、やや満足」「重要、やや重要」の合計値として算出しています。

【一次評価】

検証項目	施策の成果と課題	施策成果の目標達成状況【14】 <input type="checkbox"/> まだ未達成 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 目標を大きく上回る	
		意識調査での満足度【15】 <input type="checkbox"/> 平均を下回る <input type="checkbox"/> ほぼ平均 <input checked="" type="checkbox"/> 平均を上回る	
	施策の成果と課題 (取組成果や目標達成に向けた課題、成果向上・コスト削減策等)【16】	◇公園・緑地の確保については、平成20年度から平成21年度に、芝久保三丁目ふれあい公園・北宮ノ脇公園の整備を行いました。また、特別緑地保全地区制度を活用した緑地の保全についても、検討してきました。さらに、公園・緑地を確保するための財源として平成23年度に「みどり基金」を創設しました。 ◇身近なみどりの創出については、市民との協働で行う「花いっぱい運動」を推進してきました。また、生垣の造成に対する助成を行ってきましたが、みどりに親しむ環境づくりやブロック塀等の倒壊による災害の発生防止など、その必要性は増しており、この制度の利用を一層促進する必要があります。	
検証項目	今後の方針	施策の重要性の変化【17】 <input type="checkbox"/> 弱くなっている <input checked="" type="checkbox"/> 以前と同程度 <input type="checkbox"/> 強くなっている	
		意識調査での重要性【18】 <input type="checkbox"/> 平均を下回る <input type="checkbox"/> ほぼ平均 <input checked="" type="checkbox"/> 平均を上回る	
	今後の方針 (具体的な事業群や事務事業を示しながら)【19】	◇公園・緑地の確保財源の確保については、みどり基金の活用等を検討していきます。また、平成24年度については、特別緑地保全地区制度を活用して、11,000㎡の民有地の緑地を保全します。 ◇身近なみどりの創出については、市民との協働で行う「花いっぱい運動」を推進していきます。また、生垣に対する助成制度については、市報やホームページで広報を行うとともにその普及に努めます。なお、市民意識調査において、「みどりの保全・活用」については、40.3%の満足度を得ています。	
総合評価	施策内容の方向性【20】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 絞込み		
	施策実施コストの方向性【21】 <input type="checkbox"/> 重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 効率化		
	施策実施方針【22】 V コスト、成果ともに現状を維持すべき施策領域		

【一次評価後の事情変更等】

説明【23】	
--------	--

【行革本部評価】

総合評価	施策内容の方向性【20】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 絞込み	
	施策実施コストの方向性【21】 <input type="checkbox"/> 重点化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 効率化	
	判断理由等【24】 みどりの空間の創出については、平成23年度に下保谷森林公園の新規整備を行ったことで、成果指標に掲げた公園・広場の整備数としては目標を達成することができたほか、特別緑地保全地区制度の活用、市民との協働による「花いっぱい運動」の推進、公園・緑地確保のための財源として「みどり基金」を創設するなど、みどりの創出に向けた積極的な取組みを進めてきました。 市民意識調査における満足度は、前回施策評価と同様、相対的に高水準を維持しており、引き続きコスト面での効率化に努めるべきものと判断しました。 このため、今後において必要とされる公園・緑地等の整備に当たっては、基金その他の財源の確保に努めることとします。	
施策実施方針【22】 VI コストを抑制しながら成果を維持すべき施策領域		

事業群	名称【25】	担当課【26】	概要【27】
1	公園広場等整備事業（仮称）ひばりヶ丘駅北口公園	みどり公園課	まちづくり事業（ひばりが丘北三丁目）に伴い、都市計画道路代替地に公園を整備する。
	公園広場等整備事業（仮称）下保谷四丁目特別緑地保全地区	みどり公園課	西東京市みどりの基本計画に基づき、下保谷四丁目地内の屋敷林を特別緑地保全地区に指定する。
	公園遊具等修繕事業	みどり公園課	みどりの空間の創出を目指す中で、安全で快適な公園利用を図るため、老朽化した遊具の早期改善を行い、計画的に取替及び補修工事を実施し、遊具の安全確保に努めています。 大規模な修繕等が必要な遊具については、平成21年度は旧田無地域を、平成22年度は旧保谷地域を対象に集中的に改修工事を実施しました。また、部分修繕等が必要なものについては、平成23年度から平成24年度にかけて、集中的に改修工事を行います。その後も毎年点検を行い公園遊具の補修工事は、随時行う予定です。
2	苗木配布の推進	みどり公園課	住宅の庭などにおける緑化を支援することにより、みどりに親しむ環境づくりや民有地の緑化を推進することを目的とし、年に1回保谷庁舎や西東京いこいの森公園などで市民の方々に無料で配布していたが、効果の検証や喚起といった波及効果も期待しづらいため、市民の緑化行動の喚起・支援といった観点で効果のできる事業を別途実施することが適当として本事業は廃止となった。（事業廃止）
	生垣造成の支援	みどり公園課	宅地と道路との接道部における緑化を支援し、みどりに親しむ環境づくりを推進するとともに、ブロック塀等の倒壊による災害の発生防止を目的としています。 事業内容としては、新たな生垣の造成及びそれに伴う既存のブロック塀等の撤去に対し補助金を交付しています。
	花いっぱい運動の推進	みどり公園課	公園などの公共用地に設けた花壇のデザインや植え付け、管理等を市民と協働で行う「花いっぱい運動」を推進し、市民の緑化への関心を高めるとともに、潤いのある豊かなまちづくりの実現を図ることを目的としています。 事業内容としては、NPO団体の西東京市花の会に事業委託して、種から栽培して、花の植え付けを地域の方々に参加していただきながら、実施しています。
	道路整備の残地活用によるポケットパークの整備	みどり公園課	道路を整備するときに、用地買収をして道路として整備する以外の残地についてポケットパークなどみどりの創出に資するということを目的としていますが、計画的に整備していくものではなく、理念的な位置づけとなっています。
	公共施設の新設・建替等に伴う屋上緑化等の推進	みどり公園課	（各公共施設整備事業で実施） 公共施設を整備するときに施設の整備条件により屋上緑化を目指すことを目的としていますが、計画的に整備していくものではなく、理念的な位置づけとなっています。
事業の合計			

総コスト(千円) : 評価年度【28】			事務事業 の評価 (直近)【29】	26市の サービス 水準との 比較【30】	施策における位置づけ【31】	貢献度 【32】
事業費	人件費					
79,228	78,411	817	— (平成24年度)	—	買取申出のあった借地公園を買い取り再整備して、計画的な公園・緑地の確保ができます。	A
2,858	0	2,858	拡充 (平成24年度)	上	うるおいの付与、固有の生態系や地域文化の保持・美しい景観の創出。	—
13,693	12,550	1,143	事業化 (平成21年度)	—	公園遊具を改修して、利用者の安全確保に努めています。	A
0	0	0	廃止 (平成23年度)	上	苗木を配布して、民有地などにおける緑化が進みます。 (事業廃止)	C
2,488	2,080	408	改善・見直し (平成23年度)	中	生垣造成の支援をすることにより、民有地などにおける緑化が進みます。	B
9,408	5,325	4,083	継続実施 (平成23年度)	上	花いっぱい運動を通じて、身近なみどりの創出を図ることができます。	A
0	0	0	—	—	街路整備における余剰地を活用して、身近なみどりの創出に努めています。	C
0	0	0	—	—	公共施設の整備時に屋上緑化を図るなど、身近なみどりの創出に努めています。	C
107,675	98,366	9,309				